

【様式1】 平成29年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	山県市	学校名	大桑小学校			
校長名	横山 貴雅	対象学年	4, 5年生	人数	12	人
活動名	ふるさと学習 「大桑町おこし計画」	時間数	50	時間	継続年数	1年
題材	① 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [自然や農産物の活用] ② 歴史（出来事・史跡・先人・その他） [] ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） [] ④ 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） [] ⑤ 地域との積極的な関わりをつくる活動等 [体験活動を共同運営] ⑥ その他（ ） []					
複数年継続するための工夫改善	地域の有志の手により本年度よりスタートした体験活動（里山アドベンチャー）の企画・運営に本校児童が参加できるように、総合的な学習の時間に位置づけた。児童が地域スタッフに企画を提案し、問題点について指摘を受けながら改善策を考え、運営にもスタッフとして携わる営みを継続していく。					
<p>1 ねらい</p> <p>自分たちが住む地域の自然や農産物を活用して、市内外から体験に訪れる子ども達を楽しませられるような活動を自分たちで企画・運営することを通して、地域への愛着を育むとともに、地域住民の一人として自分たちで貢献できることを見出し取り組もうとする態度を育てる。</p> <p>2 活動の概要</p> <p>地域の現状（大桑地区の子どもの数が減り過疎・高齢化が進んでいること、近くに高速道路のIC建設が進められ、地域が発展するチャンスであること等）をふまえ、地域のために自分たちが貢献できることを考えるなか、地域の方が主催する「里山アドベンチャー」に参加して楽しませてもらうだけでなく、自分たちも地域の人と一緒に地域のことをPRし盛りあげたいという願いを抱いた。</p> <p>他地域から訪れる子ども達を「大桑ならではの」自然や農産物を活用して楽しんでもらえる企画を考え、地域スタッフの意見を聞きながら修正してまとめあげたプランを実現させるに至った。</p> <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <p>昨年度の6年生が、学校に新しい遊具の設置を地域のリーダーに嘆願したが、実現はしなかった。それを受け、地域の有志が地域や市内外の子どもを集め、自然を生かした体験活動のイベントを定期的開催する企画をスタートした。本校の児童はイベントに参加するだけでなく、スタッフとして、あるいは地元のことをよく知る自分たちが企画を提案して地域を盛りあげようと考えた。</p> <p>1学期、4, 5年生が4つのグループに分かれ、「木の実で遊ぼう」「手作り米せんべいを作ろう」「生き物をとって観察しよう」「おいしい栗料理をつくろう」という4つの企画を考え、地域スタッフに提案した。スタッフからはたくさんの課題や疑問が投げかけられたが、それを一つ一つ解決し、2学期には「木の実で遊ぼう」と「手作り米せんべいを作ろう」の企画が採用され、児童はスタッフとして、時には指導者として他地域から訪れた子ども達を楽しませている。</p> <p>4 活動を通しての児童生徒の変容</p> <p>自分たちでも地域に貢献できたという満足感が生まれ、自分たちのアイデアを様々な地域の行事に生かしていきたいという意欲が高まった。また、多様なボランティア活動に参加する児童が増えた。</p>						